

株式会社試作工房電、常盤ゴム株式会社グループへの参画を発表

— 試作力と商社ネットワークの融合で試作-量産プロセスの革新を

概要

試作加工分野で小ロット・短納期対応を得意とし、各種樹脂・軽金属の精密加工や検査治具の設計製作を手掛ける 株式会社試作工房電(代表取締役:小林大介、本社:神奈川県厚木市下荻野 994-4)は、この度創業 80 周年を迎えた 常盤ゴム株式会社(代表取締役会長:此下竜矢、代表取締役社長:山口紀行、本社:東京都葛飾区奥戸 2 丁目 37 番 15 号)と **資本業務提携を結び**、グループに加わる事となりました。**両社は 100%株主を同じくする兄弟会社として共同して始業を推進いたします。**

この提携により、試作工房電の試作加工力・設計製作力が、常盤ゴムの広範な営業ネットワークと素材・部品の調達力と融合し、試作から量産準備までの開発プロセスの時間とコストを大きく改善することを目指します。調印式の翌日には常盤ゴムの全国営業所全所長が集合して試作工房電を訪れ、さっそく新規案件受注が決定しており、複数の新規プロジェクトも立ち上がりました。今後とスピード感をもって両社の協業を進め、本件資本業務提携を実りあるものに育て上げてまいります。

背景・目的

- 市場環境の変化により、製品開発では“アイデアを早く形にする”ことの価値が高まっています。特に短納期・少量試作のニーズが増加しており、設計・評価・修正と量産準備の繰り返しが重要になっています。
- 試作工房電は、これまで多くの顧客の試作段階での柔軟な対応を通じて、設計フィードバックの速さ、形状・材質バリエーション対応の自由度などで高評価を得ています。
<https://r.goope.jp/shusaku-den/>
- 一方、常盤ゴムは営業商社として、素材・製品の提案力・調達ネットワーク・営業チャネルを強みに持ち「提案から調達、調整、納期管理」までのトータルサービスを長年築いてきました。両社の力を結集することで、顧客にとっての開発初期ステージのハードルを下げるのが目的です。

<https://tokiwa-rubber.com/>

両社の強みとシナジー効果

- 試作工房電の 加工設備(マシニングセンター、5 軸機 MM1000 加工機など)・設計製作能力 と、常盤ゴムの 営業提案力／素材・部品の調達力／広範な顧客ネットワーク。これにより、試作品の品質と納期を両立させながら、見積もり・仕様変更時のレスポンスを向上させられます。
 - 試作工房電側では、常盤ゴムを通じてより多様な業界・顧客にアクセス可能となるためビジネス機会が増大します。また、常盤ゴムにとっては、提案内容に試作実績を含められることで、お客様に対する信頼性や提案力がアップします。
 - 技術的な反復・評価の段階での時間短縮やコスト圧縮が可能になり、製品化までのリードタイムを短縮できます。
-

今後の展望

- 試作工房電としては、常盤ゴムグループの一員として、量産前工程での試作や評価治具などの受注を拡大し、加工技術の高度化(微細加工／材料の多様化など)を推進します。
 - また、常盤ゴムとの共同で、設計支援サービスや試作品評価・検証支援を含むパッケージ提案を立ち上げ、顧客の“試作ありき”ではなく“開発プロセスを加速させる”工場としての地位を確立してゆきます。
 - 加えて、新製品開発案件や量産直前のフィードバックループを強めることで、顧客の製品投入リスクを低減し、品質保証／コスト管理面での競争優位を築いてまいります。
-

代表者コメント

小林大介 代表取締役(株式会社試作工房電)

「常盤ゴム様の 80 年にわたる営業商社としてのノウハウと、私どもの試作加工力を掛け合わせることができ、たいへん光栄に思います。お客様のアイデアを出来る限り早く“形”にすること、設計変更や細かなご要望にも柔軟にお応えすることで、製品開発のストレスを減らし、信頼されるパートナーとして価値を提供してまいります」

山口紀行 社長(常盤ゴム株式会社)

「80 年と言う歴史の重さを感じながら、このたび試作工房電を迎える事ができ、非常に心強く思っております。私どもは創業以来、“お客様の要望を叶える最高のパートナー”であり続ける事を使命としてきました。試作加工と言う早期具現化の力を取り組む事で、お客様の夢や構想をより速くかたちにしていける体制を整えます。これからも安定を土台に、質の高い提案とスピードで価値を提供してまいります。」